

お芝居って、どうやってつくるの？

第一幕・幕が上がるまで ある劇団の稽古場が舞台。近所に住む子供たちが、「お芝居」について質問にやってきます。劇団員や演出家が、彼らの質問に答え、演技をするコツや「お芝居」を作るポイントを**伝授**します。やがて始まったのは、落合聰三郎作「太郎と五郎」という短い芝居の「本よみ」で、ちょっと違う視点から**お芝居の魅力**をさらに発見していきます。

第二幕・うた時計 冬の暖かい日、峠の見はらし台で、少年が宿題の絵を描いていると、下の村から登って来た男が声をかけてきました。男はそこで一休みすることにしたのですが、偶然、男のコートのポケットからオルゴールが鳴り出します。それは少年の大好きな音楽でした。よく行く薬屋にも同じ曲のオルゴールがあって、少年の妹が病気で死ぬ間に聴きたがったことや、薬屋のおじさんがそれをとても大切にしている、その曲を聴くといなくなってしまった息子を思い出すことなど、少年から聞こうちに男は…実は、このオルゴールには**ある秘密**があったのです。そして、この男の人は誰なのでしょう？

舞台に立って役者と共演！ *check*

バリエーション企画として舞台の**共演**が可能です。
ご希望される方は劇団までお問い合わせ下さい。



脚本：平塚仁郎 演出：村田里絵
「うた時計」 原作：新美南吉

 **劇団芸優座**

〒182-0025 東京都調布市多摩川 2-28-4
☎ 042-489-4555 info@geiyuza.com

幕が上がるまで